

令和 6 年度決算に係る

定期監査

資料

決算審査

令和 7 年 7 月

教育委員会事務局 社会教育課

目 次

1 前年度監査委員指摘事項等に対する措置等	1
○ 定期監査	
(1) 勧告事項	
(2) 指摘事項	
(3) 監査意見	
○ 決算審査監査意見	
2 職員の定員、現員調べ	1
3 役付職員の調べ	2
4 決算資料	2
5 事業別実施状況調べ	3
6 主な事業に関する調べ	10
7 現金の取扱状況	該当なし
(1) 現金取扱状況	
(2) つり銭の状況	
8 財産に関する調べ	11
(1) 公有財産	
(2) 金券類の保有状況	
(3) 基金	
(4) 債権	
9 財産の貸付け及び使用許可調べ	13
(1) 土地及び建物	
(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
10 借受不動産明細調べ	16
11 寄附物件の受納状況調べ	該当なし
12 備品の処分状況調べ	17
13 貸付金等状況調べ	該当なし
(1) 総括表	
(2) 償還状況	
14 税外収入未済額調べ	該当なし
15 歳入欠陥に関する調べ	該当なし
○ 意見、要望等	17

1 前年度監査委員指摘事項等に対する措置等

○定期監査

(1) 勧告事項

該当なし

(2) 指摘事項

指摘事項	措置状況等
国庫補助金の受入について 鳥取県学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金について、町からの実績報告書の修正を見落としたため、国の補助金を財源とすべきところを当該補助金の交付を受けないで執行しているものがあった。	【措置済】 令和6年5月22日に、総括補佐から今回の指摘内容を所属内に周知するとともに、補助金等を含め重要な連絡をメールでやりとりする場合は所属の代表メールアドレスに送信してもらうよう指導し、複数人でチェックできるようにした。

(3) 監査意見

該当なし

○決算審査監査意見

該当なし

2 職員の定員、現員調べ

(4月1日現在)

種別 区分	事務職員	技術職員	現業職員	合計	会計年度 任用職員	臨時的 任用職員	備考
定員(A)	(16) 16	(0) 0	(0) 0	(16) 16	(4) 3	(0) 0	事務職員：社会教育課(10)、船上山(3)、大山(3) 会計年度任用職員：事務補助(1)、体験活動指導員(2)
現員(B)	(21) 21	(0) 0	(0) 0	(21) 21	(4) 3	(0) 0	事務職員：社会教育課(11)、船上山(3)、大山(3)、派遣研修専門指導員受入(4)(船上山、大山各2) 会計年度任用職員：体験活動指導員(3)
内 育児休業等	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	
過不足(Δ) (B-A)	(5) 5	(0) 0	(0) 0	(5) 5	(0) 0	(0) 0	事務職員：派遣研修専門指導員受入(4)(船上山、大山各2)、社会教育課過員(1) 会計年度任用職員：事務補助(Δ1)、体験活動指導員(1)

3 役付職員の調べ

(7月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
課長	福本 哲也	年 1	月 3	
課長補佐	(併) 毎野 良子	2	3	環境立県推進課星空環境推進室課長補佐 通算：4年3月
課長補佐	尾崎 浩三	3	3	
課長補佐	(併)(兼) 松本 千恵	1	3	家庭支援課課長補佐 小中学校課課長補佐
船上山少年自然の家所長	中本 祐二	3	3	
大山青年の家所長	三嶋 範嗣	1	3	

4 決算資料

○一般会計（歳入・歳出） 別添「歳入決算調書」及び「歳出科目別決算調書」のとおり

5 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等																	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A																						
(目名) 社会教育総務費																											
社会教育企 画費	5,549,000	0	0	△476,582	5,072,418	4,220,420	0	851,998	83.2																		
	(1) 教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議の開催																										
	<table><tr><th>期 日</th><th>会 場</th><th>会議の内容</th></tr><tr><td>令和6年7月2日</td><td>県立倉吉体育文化 会館</td><td>(議事)・令和6年度社会教育関係団体への補助金について(追加) ・「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン(第5次計画)」の骨子(案)について (報告)コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に関する令和6年度の主な取組状況について</td></tr><tr><td>令和6年12月19日</td><td>県立倉吉体育文化 会館</td><td>(議事)・任期中の調査・審議事項について ・令和7年度社会教育関係団体への補助金について (報告)鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン(第5次計画)案及びパブリックコメントの実施結果について (研修)多様な子どもたちへの読書推進のために(講師:専修大学文学部教授)</td></tr><tr><td>令和7年3月18日</td><td>県立倉吉体育文化 会館</td><td>(意見交換)・「今後の生涯学習のあり方」(答申)について ・県の生涯学習振興施策の現状・成果と課題について</td></tr></table>										期 日	会 場	会議の内容	令和6年7月2日	県立倉吉体育文化 会館	(議事)・令和6年度社会教育関係団体への補助金について(追加) ・「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン(第5次計画)」の骨子(案)について (報告)コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に関する令和6年度の主な取組状況について	令和6年12月19日	県立倉吉体育文化 会館	(議事)・任期中の調査・審議事項について ・令和7年度社会教育関係団体への補助金について (報告)鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン(第5次計画)案及びパブリックコメントの実施結果について (研修)多様な子どもたちへの読書推進のために(講師:専修大学文学部教授)	令和7年3月18日	県立倉吉体育文化 会館	(意見交換)・「今後の生涯学習のあり方」(答申)について ・県の生涯学習振興施策の現状・成果と課題について					
	期 日	会 場	会議の内容																								
	令和6年7月2日	県立倉吉体育文化 会館	(議事)・令和6年度社会教育関係団体への補助金について(追加) ・「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン(第5次計画)」の骨子(案)について (報告)コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に関する令和6年度の主な取組状況について																								
	令和6年12月19日	県立倉吉体育文化 会館	(議事)・任期中の調査・審議事項について ・令和7年度社会教育関係団体への補助金について (報告)鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン(第5次計画)案及びパブリックコメントの実施結果について (研修)多様な子どもたちへの読書推進のために(講師:専修大学文学部教授)																								
令和7年3月18日	県立倉吉体育文化 会館	(意見交換)・「今後の生涯学習のあり方」(答申)について ・県の生涯学習振興施策の現状・成果と課題について																									
(2) 各種研修派遣 第66回全国社会教育研究大会(茨城大会)及び第46回中国・四国地区社会教育研究大会(徳島大会)へ生涯学習分科会委員を派遣した。																											
(3) とっとり県民カレッジ講座の開催 市町村と連携し地域課題の解決につなげられるテーマの講座を開催するとともに、県内大学と連携しながら、県民の多様なニーズに応える学習機会を提供した。																											
① とっとり県民カレッジ講座 ア 市町村連携																											
<table><tr><th>期日</th><th>会場</th><th>開催テーマ</th><th>連携先市町村等</th><th>受講者数</th><th>備考</th></tr><tr><td>令和6年8月31日</td><td>若桜町公民館ほか</td><td>(わ)ワクワク!(か)感動!(さ)再発見!～深掘りちいき探訪～</td><td>若桜町教育委員会</td><td>29人</td><td></td></tr><tr><td>令和6年10月5日</td><td>ヴィレステひえづ</td><td>地域をつなぐ「子どもの居場所」</td><td>西部地区社会教育担 当者研究協議会</td><td>25人</td><td>動画視聴回数 78回</td></tr></table>										期日	会場	開催テーマ	連携先市町村等	受講者数	備考	令和6年8月31日	若桜町公民館ほか	(わ)ワクワク!(か)感動!(さ)再発見!～深掘りちいき探訪～	若桜町教育委員会	29人		令和6年10月5日	ヴィレステひえづ	地域をつなぐ「子どもの居場所」	西部地区社会教育担 当者研究協議会	25人	動画視聴回数 78回
期日	会場	開催テーマ	連携先市町村等	受講者数	備考																						
令和6年8月31日	若桜町公民館ほか	(わ)ワクワク!(か)感動!(さ)再発見!～深掘りちいき探訪～	若桜町教育委員会	29人																							
令和6年10月5日	ヴィレステひえづ	地域をつなぐ「子どもの居場所」	西部地区社会教育担 当者研究協議会	25人	動画視聴回数 78回																						

	イ 特別講座（県内大学と連携実施）10回実施									
	大学名					受講者数				
	鳥取看護大学・鳥取短期大学（5回）					175人				
	公立鳥取環境大学（2回）					26人				
鳥取大学（3回）					264人					
計					465人					
② 連携講座 100機関 1,861講座										
(流用△476,582円は、とっとりふれあい家庭教育応援事業へ288,582円、船上山少年自然の家運営費へ174,000円、大山青年の家運営費へ14,000円流用したもの)										
事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
(主) インターネットとの適切な接し方教育啓発推進事業	4,570,000	0	0	0	4,570,000	3,550,872	0	1,019,128	77.7	
主な事業に関する調べのとおり										

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
県市町村社会教育振興事業	2,045,000	0	0	0	2,045,000	1,655,337	0	389,663	80.9	
	地域の教育力を高め、県全体の社会教育の推進を図るため、市町村、公民館等の社会教育関係者等を対象とした各種研修会を実施した。 (1) 県・市町村対象の生涯学習・社会教育担当者研修の実施 (2) 社会教育協議会主催の研修会に対する助成 (3) 社会教育主事養成講座の実施									
	期日		会場		内容			受講人数	修了者数	
	令和7年2月12日～2月20日 (集合開催7日間)		県立倉吉体育文化会館		生涯学習概論、社会教育経営論(オンライン) 生涯学習支援論、社会教育演習(オンラインと集合を組み合わせて実施)			22名	21名	
	(4) 鳥取県地域コーディネーター養成講座 修了者30名(全日程(4講座)を修了した者。昨年度と今年度で分割受講した者を含む。)									
		期日		内容		受講人数				
社会教育関係団体等による地域づくり支援事業	第1回	令和6年6月28日		社会教育の理解		25名				
	第2回	令和6年7月26日		学校と地域の連携・協働		25名				
	第3回	令和6年8月27日		コーディネートの実際①		28名				
	第4回	令和6年10月2日		コーディネートの実際②		28名				
本の好きな子どもを育てるプロジェクト	4,685,000	1,248,000	0	0	5,933,000	4,877,004	0	1,055,996	82.2	
	青少年の健全育成、家庭・地域の教育力の向上及び本県の生涯学習の推進を図ることを目的に、社会教育関係団体が行う人材育成、指導者養成及び調査研究活動を助成した。 交付先：鳥取県PTA協議会、鳥取県高等学校PTA連合会、鳥取県連合青年団、ガールスカウト鳥取県連盟、日本ボーイスカウト鳥取連盟、鳥取県子ども会育成連絡協議会、鳥取県連合婦人会									
本の好きな子どもを育てるプロジェクト	1,391,000	0	0	0	1,391,000	846,611	0	544,389	60.9	
	子どもたちがより効果的に本との関わりを持つための取組として、子ども読書アドバイザーの派遣や児童・生徒の読書推進の啓発など、子どもの読書活動を推進するための事業を展開した。									

(1) 子ども読書アドバイザーの派遣等

子どもの読書に関する知識や豊富な経験を持つ「子ども読書アドバイザー」を保護者会や読み聞かせボランティアの研修会に講師として派遣した。また、読書アドバイザーの技能向上を図るため研修会を開催した。

① 読書アドバイザーの派遣

- ・派遣件数：15件（読み聞かせボランティア、保護者、子育て支援者等への研修13件 主に生徒への研修2件）
- ・アドバイザー：40人（令和6年度末）

② 研修会の開催

期日	会場	研修のテーマ	受講者数
令和6年11月9日	倉吉福祉センター	・しあわせなことばとの出会い ～幼い子どものことば、こころを育むわらべうた～ ・特別な配慮を必要とする子どもたちへの読み聞かせ ・子ども読書アドバイザー意見交換会	55人（うちアドバイザー13人）

(2) 乳幼児期の子どもと保護者を対象にした啓発活動

図書館等と連携して乳幼児期の読書習慣定着に向けた啓発イベントを実施した。

期日	会場	内容	参加者数
令和6年7月15日	米子市児童文化センター	未就学児から楽しめる本のしおりづくり・豆本づくり・缶バッジづくり体験 （共催：鳥取県「体験の風をおこそう」実行委員会）	142人
令和6年10月26日	鳥取市民会館	同上	207人

(3) 中学生・高校生ポップコンテスト

小学生に比べ本を読まない割合が高くなる中学生・高校生に本を読む機会、読書の意義を他者に伝える体験を提供するため、コンテストを実施した。（共催：鳥取県書店商業組合、鳥取県図書館協会）

- ・募集期間：令和6年8月1日～9月27日
- ・応募作品総数：818点
- ・優秀賞：42点（うち、10点は鳥取県書店商業組合が選定する特別賞を受賞）

優秀賞受賞作品は書店や図書館で展示したほか、書店の店頭や公立図書館で本の紹介に活用した。

（不用額が予算現額の3割以上となった理由）

中学生・高校生ポップコンテスト募集チラシの印刷費用が見込みよりも少額で済んだこと等のため。

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
児童養護施設等と連携した自然体験活動推進事業	452,000	0	0	0	452,000	71,594	0	380,406	15.8	家庭環境等の違いのために生じる「体験格差」の是正のため、児童養護施設等を対象とした自然体験活動を行った。 (1) 自然体験活動の実施 参加施設：9施設 参加人数：合計197人 実施場所：空山ポニー牧場、氷ノ山自然ふれあい館響の森、船上山少年自然の家、大山青年の家 実施内容：県立施設等の指導員の指導・助言により、日帰りあるいは出前活動で自然体験活動を行った。(主な活動内容) ポニー教室、自然散策、クラフト、野外炊事 等 (2) 各児童養護施設及び各母子生活支援施設への報告会の実施 日時：令和7年3月7日(金) 午後2時から3時 開催方法：Zoomによるオンライン開催 内容：令和6年度事業の概要及び活動報告、意見交換、令和7年度事業(案)の説明 (不用額が予算現額の3割以上となった理由) 野外炊飯等食事を伴う活動を実施した団体が見込みより少なかったため。
(主) 地域学校協働活動推進事業	66,569,000	△7,900,000	0	0	58,669,000	51,479,245	0	7,189,755	87.7	主な事業に関する調べのとおり
とっとりふれあい家庭教育応援事業	8,748,000	0	0	288,582	9,036,582	7,540,310	0	1,496,272	83.4	家庭教育力の向上を図るため、身近な地域において家庭教育を支援する「家庭教育支援チーム」の設置促進、市町村担当者や家庭教育支援員等への学習機会の提供、相談体制の充実等きめ細かな支援を行うことにより、地域全体で家庭教育を支えていく人材育成・基盤形成を推進した。

<家庭教育を支援する人材の育成> <table><tr><th colspan="2">研修会</th><th>期日</th><th>講師</th><th>受講人数</th></tr><tr><td>第1回</td><td>県の取組と現代課題の把握</td><td>令和6年7月30日</td><td>県教育委員会、子育て王国課</td><td>54人</td></tr><tr><td>第2回</td><td>地域人材を活かした子育て家庭教育支援の取組及び保護者との関わり方</td><td>令和6年9月25日</td><td>県内家庭教育支援活動関係者 臨床心理士</td><td>64人</td></tr><tr><td>第3回</td><td>保護者同士の関係づくりに大切なこと</td><td>令和6年11月22日</td><td>国立大学法人大分大学大学院教育学研究科教授</td><td>25人</td></tr></table> <家庭教育に関する学習機会の提供> ・「とっとり子育て親育ちプログラム」：ファシリテータ7名を12ヶ所へ派遣 ・「とっとり子育て親育ちプログラム」改訂：有識者が参加する改訂委員会を3回開催し近年の家庭教育に関する課題を踏まえたプログラムの追加等を実施 ・家庭教育支援アドバイザー派遣：アドバイザー7名を25ヶ所へ派遣 <その他> ・鳥取県家庭教育推進協力企業：1,054社（令和7年3月現在） ※鳥取県家庭教育推進協力企業：保護者である従業員が子育てしやすく、また、子どもたちを健やかに育てる地域活動に参加しやすい職場環境づくりに自主的に取り組む企業として、鳥取県教育委員会と協定を結んだ企業 （流用288,582円は、社会教育企画費からの流用）											研修会		期日	講師	受講人数	第1回	県の取組と現代課題の把握	令和6年7月30日	県教育委員会、子育て王国課	54人	第2回	地域人材を活かした子育て家庭教育支援の取組及び保護者との関わり方	令和6年9月25日	県内家庭教育支援活動関係者 臨床心理士	64人	第3回	保護者同士の関係づくりに大切なこと	令和6年11月22日	国立大学法人大分大学大学院教育学研究科教授	25人
研修会		期日	講師	受講人数																										
第1回	県の取組と現代課題の把握	令和6年7月30日	県教育委員会、子育て王国課	54人																										
第2回	地域人材を活かした子育て家庭教育支援の取組及び保護者との関わり方	令和6年9月25日	県内家庭教育支援活動関係者 臨床心理士	64人																										
第3回	保護者同士の関係づくりに大切なこと	令和6年11月22日	国立大学法人大分大学大学院教育学研究科教授	25人																										
目 計	94,009,000	△6,652,000	0	△188,000	87,169,000	74,241,393	0	12,927,607	85.2																					
事業名	予 算 現 額					支出済額 （決算額） B	翌年度 繰越額 C	差引残額 （不用額） A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等																				
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A																									
（目名）青少年社会教育施設費																														
船上山少年 自然の家運 営費	60,905,000	0	0	224,000	61,129,000	58,851,347	0	2,277,653	96.3																					
	船上山少年自然の家の運営及び施設の維持管理を行った。 ・指定管理者（R6～R10）TKSS・富士総合警備保障共同企業体 ・管理運営費 51,028,000円 （1）年間受入者数 日帰り8,544人 宿泊8,432人 計16,976人 （2）その他施設修繕等 （3）主催事業の実施																													

	ファミリーキャンプ、ちっちゃい体験隊等19事業 参加者数：1,567人(左記は(1)の内数) (4) 鳥取県の美しい星空環境を活かした体験活動等推進事業 ア 学校行事及び県立青少年社会教育施設における星空観察事業 主催事業：5事業・124人、受入団体：3団体・60人 イ 移動式プラネタリウム実施事業 3回・56人 (流用224,000円は、社会教育企画費から174,000円、大山青年の家運営費から50,000円を流用したもの)									
大山青年の家運営費	87,883,000	△7,709,000	0	115,000	80,289,000	75,653,498	0	4,635,502	94.2	
	大山青年の家の運営及び施設の維持管理を行った。 ・指定管理者 (R6~R10) (公財) 鳥取県教育文化財団 ・管理運営費 47,982,000円 (1) 年間受入者数 日帰り14,573人 宿泊12,962人 計27,535人 (2) その他施設修繕等 (3) 主催事業等の実施 ファミリーエンジョイカヌー、はじめての冒険等22事業 参加者数：1,957人(左記は(1)の内数) (4) 鳥取県の美しい星空環境を活かした体験活動等推進事業 学校行事及び県立青少年社会教育施設における星空観察事業 主催事業：4事業・179人、受入団体：5団体・181人 (流用115,000円は、生涯学習センター運営費から151,000円、社会教育企画費から14,000円を流用し、船上山少年自然の家運営費へ50,000円流用したもの)									
目 計	148,788,000	△7,709,000	0	339,000	141,418,000	134,504,845	0	6,913,155	95.1	
事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A					
(目名) 生涯学習センター費										
	150,474,000	△13,326,000	0	△151,000	136,997,000	133,980,500	0	3,016,500	97.8	

生涯学習センター運営費	生涯学習センターの管理運営を指定管理者により行った。 ・ 指定管理者 (R6~R10) (公財) 鳥取県教育文化財団 ・ 管理運営費 105,177,000円 (1) 入館者数 59,570人 (2) 施設修繕等 本館棟などの外壁改修工事及びホール舞台吊物操作盤・制御盤交換を実施した。 (3) 主催事業 前記社会教育企画費 ((3) とっとり県民カレッジ講座の開催) に記載のとおり (流用△151,000円は、大山青年の家運営費への流用)									
目 計	150,474,000	△13,326,000	0	△151,000	136,997,000	133,980,500	0	3,016,500	97.8	
合 計	393,271,000	△27,687,000	0	0	365,584,000	342,726,738	0	22,857,262	93.7	

6 主な事業に関する調べ
別紙のとおり

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(ア) 当該機関で管理する土地

(令和7年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政財産					増加	R				R			
					減少	R				R			
計			99,830.41	45,739,686			0	0			99,830.41	45,739,686	
普通財産			0	0	増加	R				R	0	0	
					減少	R				R			
計			0	0			0	0			0	0	
合 計			99,830.41	45,739,686			0	0			99,830.41	45,739,686	

イ 建物

(ア) 当該機関で管理する建物

(令和7年3月31日現在)

令和7年度3月31日現在

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政財産					増加	R				R			
					減少	R				R			
計			12,601.30	1,945,078,261			0	0			12,601.30	1,945,078,261	
普通財産			0	0	増加	R				R	0	0	
					減少	R				R			
計			0	0			0	0			0	0	
合計			12,601.30	1,945,078,261			0	0			12,601.30	1,945,078,261	

ウ 山林

該当なし

エ 不動産売却等

該当なし

オ 財産の交換

該当なし

カ 動 産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）
該当なし

キ 物 権
該当なし

ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）
（ア）異動状況
該当なし

（イ）出願及び登録の状況
該当なし

（ウ）活用の状況
該当なし

ケ 有価証券
該当なし

コ 出資による権利
該当なし

（２）金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

種 別	
有	郵便切手・郵便はがき・収入印紙・乗車券類・タクシーチケット・その他（ ）

イ タクシーチケットの保有状況

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
83 枚	0 枚	0 枚	83 枚
		0 円	

（３）基 金
該当なし

（４）債 権
決算資料提出データベースに掲出済

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(令和7年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	電力供給配電線支持物設置	西伯郡大山町赤松明間原312番1(鳥取県立大山青年の家)	電柱1本、ケーブル1条	R6.2.5	H31.4.22	R6.4.1 ~ R11.3.31	年額	870	広島市中区大手町二丁目11番10号株式会社エネコム	
計								870		
普通財産							月額・年額	0		
計								0		
合計								870		

イ 建物

該当なし

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)

(令和7年3月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付(使用)料(円)		貸付先住所氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料				
緞帳	1	フック刺しゅう巾14.8m×高さ5.5m	R6.4.1 ~ R11.3.31	無償	無償	鳥取市扇町21番地(公財)鳥取県教育文化財団理事長	鳥取県立生涯学習センター	施設の管理運営に供するため	
グランドピアノ	1	ヤマハCF	R6.4.1 ~ R11.3.31	〃	〃	〃	〃	〃	
デジタル印刷機	1	リソグラフRZ670	R6.4.1 ~ R11.3.31	〃	〃	〃	〃	〃	
キセノンプロジェクター	2	松村電機製作所SUPERSOL-1003SR/e	R6.4.1 ~ R11.3.31	〃	〃	〃	〃	〃	

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付（使用）料（円）		貸付先	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住 氏 所 名			
ホール用デジタルミキサー	1	ヤマハCL-3、ヤマハRio3224-D	R6.4.1 ～ R11.3.31	無償	無償	鳥取市扇町21番地 (公財)鳥取県教育文化財団理事長	鳥取県立生涯学習センター	施設の管理運営に供するため	
ホール用音響システム	1	BOSE ESP-002	R6.4.1 ～ R11.3.31	〃	〃	〃	〃	〃	
ホール用音響機器	1	BOSE社 RM5520, RM7060, LT9403 DS16S B, 802-3SG, 620M J BL:LSR305	R6.4.1 ～ R11.3.31	〃	〃	〃	〃	〃	
ホール吊幕(諸幕)	1	(株)ナカヤマ 貫八綾別珍・防災品	R6.4.1 ～ R11.3.31	〃	〃	〃	〃	〃	
除雪機	1	フジイSD1123DK2	R6.4.1 ～ R11.3.31	〃	〃	〃	鳥取県立大山青年の家	〃	
絵画	1	油絵60号額縁付き「漂流」	R6.4.1 ～ R11.3.31	〃	〃	〃	〃	〃	
公用車	1	セレナ AT 4WD	R6.4.1 ～ R11.3.31	〃	〃	〃	〃	〃	
食器洗浄機	1	(株)マルゼン 本体1台 MDDGB8ER、専用作業用クリーンテーブル2台及びステンレスフード1台は仕様書のとおり	R6.4.1 ～ R11.3.31	〃	〃	〃	〃	〃	
絵画	1	初雪の大山 100号	R6.4.1 ～ R11.3.31	〃	〃	〃	〃	〃	
エルネット受信システム	1	TA-CSH575S,TD-MD100G,D-5100-06	R6.4.1 ～ R11.3.31	〃	〃	米子市米原8-11-49 TKSS富士総合警備保障共同企業体(株)TKSS代表取締役	鳥取県立船上山少年自然の家	〃	
公用車	1	パジェロ 三菱LA-V73WLRUVQ	R6.4.1 ～ R11.3.31	〃	〃	〃	〃	〃	

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付（使用）料（円）		貸付先	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住 氏 所 名			
食器洗浄機	1	PA-13A2	R6.4.1 ～ R11.3.31	無償	無償	米子市米原8-11-49 TKSS富士総合警備保 障共同企業体(株)TKS S代表取締役	鳥取県立船上山少 年自然の家	施設の管理運営に供 するため	
絵画	1	日本画(船上山北 壁)F30号	R6.4.1 ～ R11.3.31	〃	〃	〃	〃	〃	
絵画	1	雪間の日ざし 100号	R6.4.1 ～ R11.3.31	〃	〃	〃	〃	〃	
スチームコン ベクション オープン	1	(株)マルゼン ガススーパースチーム SSCG-06D ※標準附属品一式、専用 架台、ホテルパン三種付	R6.4.1 ～ R11.3.31	〃	〃	〃	〃	〃	
合計									

10 借受不動産明細調べ

(令和7年3月31日現在)

区分	種別	借受（使用）目的	所 在 地	数量又は面積	契約の状況				借受先	備考
					契約書の有無	借受期間	借料（円）		住 氏 所 名	
							単価	本年度の借料		
土地	山林	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-2	26,647	有	S51.5.18～ 存続中	無償	無償	東伯郡琴浦町山川807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	本課で 契約締結
土地	畑	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-11	299	有	S51.5.18～ 存続中	無償	無償	東伯郡琴浦町山川807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	本課で 契約締結
土地	原野	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-4	214	有	H2.4.27～ 存続中	無償	無償	東伯郡琴浦町山川807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	本課で 契約締結
土地	畑	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-12～ 14	751	有	H2.4.27～ 存続中	無償	無償	東伯郡琴浦町山川1142-3 琴浦町 琴浦町長	本課で 契約締結
合計				27,911				0		

1.2 備品の処分状況調べ

(令和7年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不用決定 年月日	処分					備考
			売却 棄却 の別	売却方法・棄却理由	処分年月日	売却額	処分費用	
食器戸棚 明宝精機KC-156	S54.10.9	R6.10.16	棄却	購入から45年経過し、老朽化と汚損がひどいため。	R6.12.14	円	40,700円	
冷蔵庫 三洋電機SRR-E781H	H6.7.15	R6.11.14	棄却	購入から30年経過し、故障した際に修理不可であるため、更新を機に処分する。	R6.11.14			更新時に引取ってもらった。
冷蔵庫 ホシザキ電機 HRF-150P3	H7.7.21	R7.1.17	棄却	購入から29年経過し、故障した際に修理不可であるため、更新を機に処分する。	R7.1.22			更新時に引取ってもらった。
合計							40,700	

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし